

## 『ボランティア学習研究』 投稿規程

1. 会員は研究紀要に論文、実践報告を投稿することができる。投稿を希望する会員は、設定された期日までに投稿申込を行うこととする。
  2. 投稿原稿は未発表のものに限る。
  3. 投稿原稿の分量は、論文については 400 字詰原稿用紙 40 枚(16,000 字)以内、実践報告については 20 枚(8,000 字)以内とする。(図・表・注を含む。図・表については原則として、1点を原稿用紙1枚分として換算する。)複数会員が連名で投稿する場合もこの分量とする。  
上記分量を超過する原稿が採用された場合は、超過頁分の印刷費用実費分を執筆者が負担することを条件とする。
  4. 手書きの場合は、A4判・横書きの 400 字詰原稿用紙を使用すること。  
ワープロを使用する場合はA4判用紙を用い、1頁 40 字×40 行とする。いずれの場合も、図・表は本文中に挿入せず、原稿に添付する。
  5. 原稿本体にはタイトルのみを記入し、執筆者の氏名、所属については、別紙に明記して原稿に添付する。
  6. 常用漢字・現代仮名づかいを原則とする。数字・アルファベットはひとマスに2字の割合(半角文字)で記入する。
  7. 注記・引用文献は、一括して文末に注記番号順に記す。参考文献は、必要に応じ、注記・引用文献の後に記す。文献等の表記は、以下の要領に準ずることが望ましい。ただし、自著について、拙稿という表現は避けることとする。
- 鈴木一郎『中学校におけるボランティア学習』教育文化社、1995、pp5-6  
山田花子「博物館とボランティア学習」、田中次郎編『博物館』教育文化社、1993、pp11-12  
鈴木一郎「ボランティア学習のコーディネート」、『季刊教育文化』3 巻 1 号、1994、pp25-29
8. 投稿原稿は、7部作成(うち6部はコピー可)し、設定された期日までに日本ボランティア学習協会紀要事務局へ提出しなければならない。
  9. 原稿の採否は、編集委員会内規にしたがって決定する。応募原稿については返却しない。
  10. 執筆者による校正は、原則として初校に限る。
- \* 40 歳未満の会員の投稿論文はアレックディクソン賞の選考対象となるので、該当する場合は、生年月日を明記すること。

### 【問い合わせ・申し込み先】

日本ボランティア学習協会 紀要事務局宛  
〒243-0124 神奈川県厚木市森の里若宮 9-1  
松蔭大学経営文化学部 仲 伯維  
TEL:046-247-1511  
E-mail: birdyzh@shoin-u.ac.jp  
URL:<http://www.volunteer-learning.jp/>